

保育理念
保育目標

～子ども一人一人の思いや活動を大切に、保護者・地域からも信頼される保育園を目指す～
～なかよく 明るく 元気な子ども～

平成31年1月31日
おきだて保育園
園長 村上 陽子

寒さが最も厳しい季節です。でも、子どもたちはますます元気で、室内でも園庭でも、フル回転で遊んでいます。雪や氷等に触れるのも、冬の大切な経験で、真冬だからといって、縮こまったりはしていません。冬将軍も、子どもたちの元気にはかないませんね。是非、私たち大人も、見習いたいものです。

近年は、昔に比べると降雪量も減ったように思いますが、折々の自然に親しみ、豊かな感性を育むことや、自然を大切にすることを育てていきたいと思っています。

2月の行事



- 1日(金) お誕生会・節分の集い
- 4日(月) 身体測定・交通安全指導
- 5日(火) スイミング
- 6日(水) 英語教室(つき・そら組)
- 7日(木) わくわくタイム(そら組)
- 12日(火) スイミング
- 14日(木) 雪まつり・雪上運動会
- 15日(金) 避難訓練
- 19日(火) スイミング
- 20日(水) 英語教室(つき・そら組)
食育指導
- 21日(木) わくわくタイム(そら組)
- 22日(金) お別れ会
- 26日(火) スイミング



3月の行事



- 1日(金) お誕生会
- 4日(月) ひな祭りの集い
- 4日(月) 身体測定
- 5日(火) スイミング
- 6日(水) 英語教室(つき・そら組)
- 7日(木) わくわくタイム(そら組)
- 8日(金) 交通安全指導
- 11日(月) 避難訓練
- 12日(火) スイミング
- 14日(木) わくわくタイム(そら組)
- 17日(日) 卒園式
- 19日(火) スイミング
- 20日(水) 英語教室(つき・そら組)
食育指導
- 25日(月) 和太鼓指導(つき組)
- 26日(火) スイミング



～バレンタインデー～

2月14日は、バレンタインデーですね。食べ過ぎはいけません。ポリフェノールの抗酸化作用や、テオプロミンのリラックス効果が注目されています。ただし、犬や猫、鳥などの動物に食べさせると中毒を起こすので、与えてはいけません。



～自分でやるの！～

はな組(1・2歳児)の子どもたちから、身の回りのことを自分でしてみたいという気持ちが多く見られています。ゆっくりではありますが、その気持ちを大切に、先回りするのではなく、お手伝いをする気持ちでフォローし、見守っています。



～今月のねらい～

- はなぐみ 0歳…発達に応じて自分でしようとする意欲を持ち、出来る事をしようとする。
- 1歳…一人ひとりの体調に留意し、寒い時期を健康に過ごせるようにする。
- 2歳…友達とのやり取りで、言葉を交わしながら遊ぶ。

ほしぐみ…友達との関わりを深め、共同的な遊びを楽しむ。
つきぐみ…集団遊びを通して意見を出し合い、協力しながら仲間意識を深める。
そらぐみ…雪などの自然に関心を持ち、調べたり試したりして、遊びの中に取り入れて遊ぶ。



～恵方巻きの由来～

節分の日、自分の年の数だけ豆を食べると1年間無病息災で過ごせると言われています。昔から関西地方では、節分の日食べるものとして、「恵方巻き」と呼ばれる巻きずしがあります。その年の吉方向を向きながら丸1本の巻きずしにかぶりつくという風習で、今では「速く走れますように。」「大きくなったら、〇〇になれますように。」等と、子ども達も願い事を言って食べる光景も多くなりましたね。子どもたちの願いが叶いますように。



～雪遊び～

子どもたちが待ちに待った雪遊びでは、かまくらに入ったり、雪投げをしたりと、いつも以上に元気一杯です。そり滑りでは、最初は怖がっていた子も、保育士と一緒に楽しむ中で慣れてきき、ではニコニコ笑顔で楽しんでいますよ！



～風邪は早めの対処を～



熱があり食欲がない等、いつもと違った様子がある時は、安静にして早めの対処をすることが大切です。嘔吐や下痢、辛そうな咳や表情等が見られたら、すぐに病院へ行きましょう。また、喉の痛みを訴えて食事が困難な場合には、栄養よりも体から失われた水分を多く補給することが先決です。おかゆも無理そうであれば、お茶やプリン、ゼリー等、喉を刺激しないもので、水分とエネルギーを補給するとよいでしょう。



～立春と節分～

2月4日は立春(春の初め)です。早い地方では、もう梅が咲き始め、春一番も待たれる頃で、節分は一般的にこの前日です。ちなみに、「茶摘み」の歌で知られる八十八夜は、立春の日を1日目としてカウントしています。そして、春一番とは、立春と春分(3月21日頃)の間に吹く、その年初めての南寄りの強い風のことです。新聞の見出しにもなりますが、その翌日には寒さが戻ることが珍しくありません。油断せずに、健康に気を配りましょう。



